

ヤマシンフィルタ株式会社 2016年3月期 第2四半期 決算説明会

外部環境は厳しいものの、
内部努力(PAC15)により、利益確保を目指す

2015年11月30日
(証券コード6240)

本日のサマリー

- 15.3期は、中国市場低迷の中、排ガス規制の駆け込み需要あり
- 16.3期2Qは、想定以上の中国・アジア市場低迷の影響を受ける
- 16.3期は、市場の低迷が拡大。補給品売上とコストダウンが利益確保の鍵

15.3期実績

前期比 増収増益
特需あり

16.3期2Q実績

前期比 減収減益
ライン品売上減少

16.3期計画

修正計画発表
コストダウンを徹底

中国市場の低迷により、2016.3期の業績予想を修正
補給品強化とコストダウンにより、利益確保を目指す

目次



I. はじめに/市場概況	P.4
II. 2016年3月期 第2四半期 実績	P.12
III. 業績予測・修正計画	P.20
IV. 今後の方向性	P.27
V. 株主還元	P.30

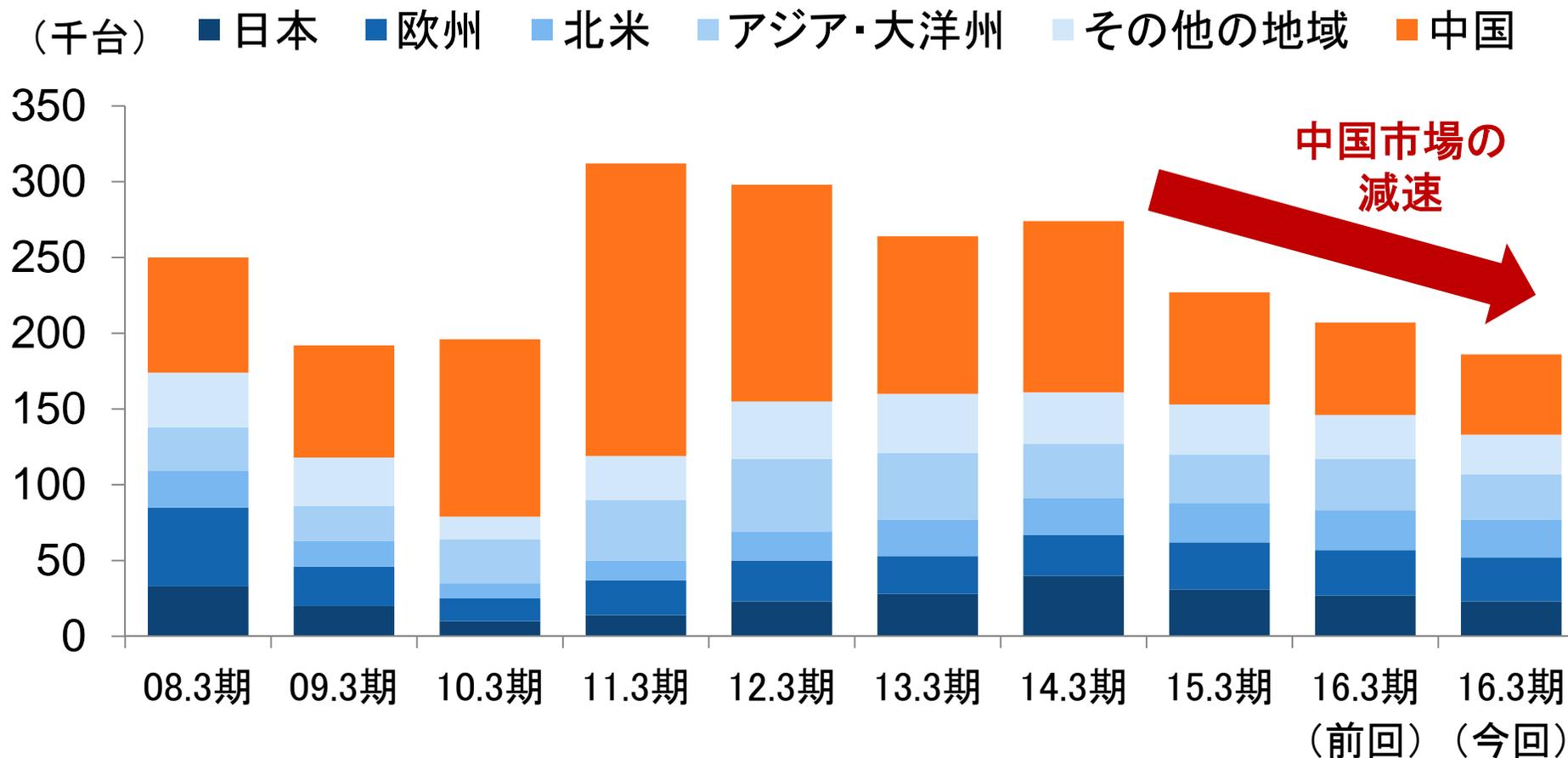
I .はじめに・市場概況

~リーマンショックに次ぐ市場の厳しさ~

事業環境/油圧シヨベル新車需要



■ 中国市場の低迷を主因に新車需要が大幅に減速



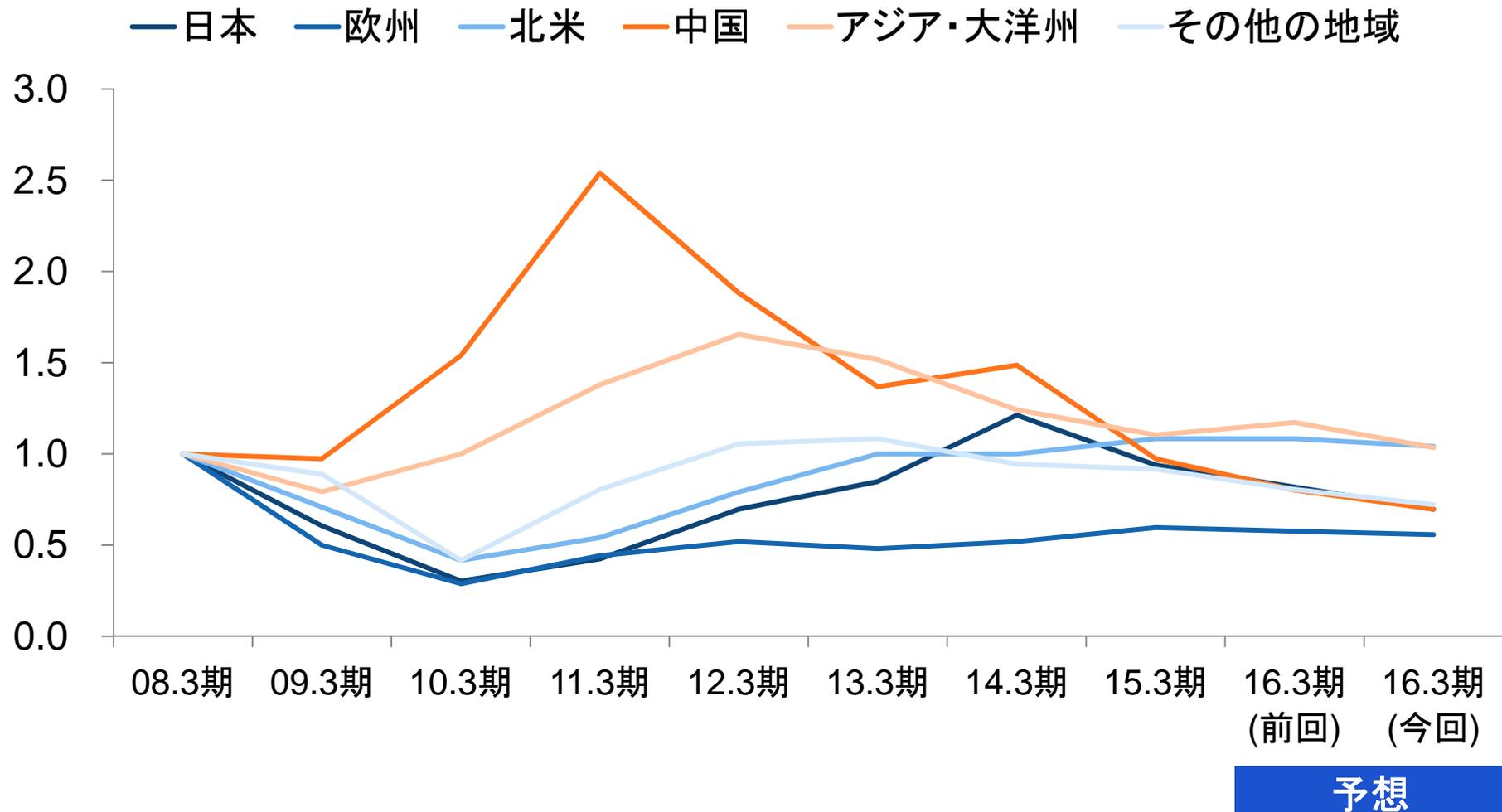
予想

(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

各市場規模の比率（08.3期を1.0として指数化）



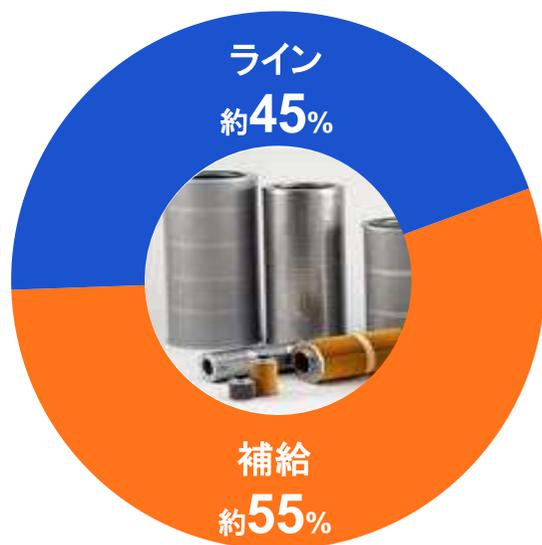
■ 中国の爆発的成長が収束。アジアも中国市場の低迷の余波を受け失速



堅調な補給品需要

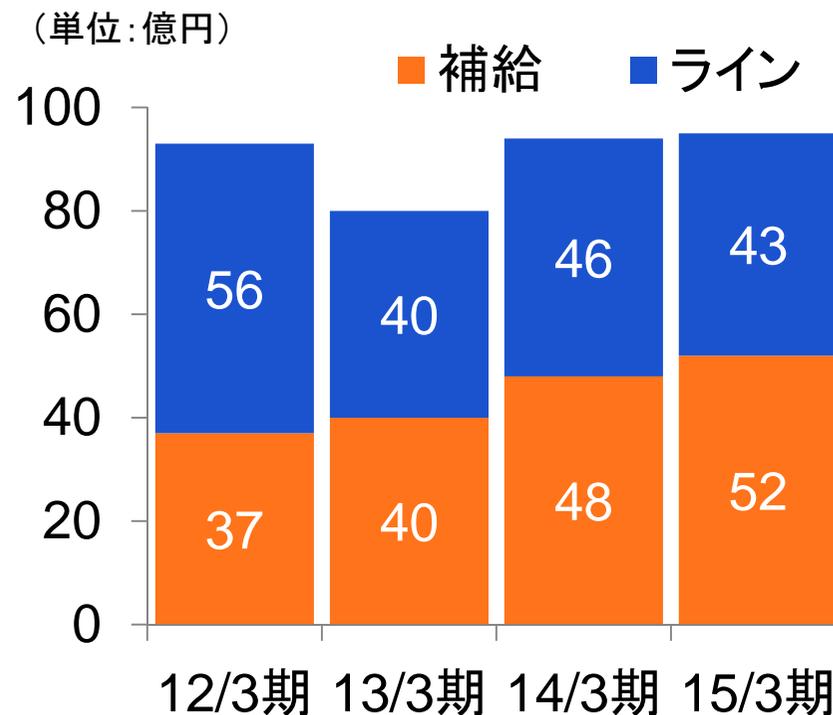
- 建機累積台数増加の中、アフターマーケットでの継続した補給品需要の拡大
- 新車需要に左右されない。「市場台数」×「稼働時間」が重要な指標

建機用フィルタ 売上構成



※ライン品とは新車搭載用のフィルタ、補給品とは交換部品用のフィルタを示しています

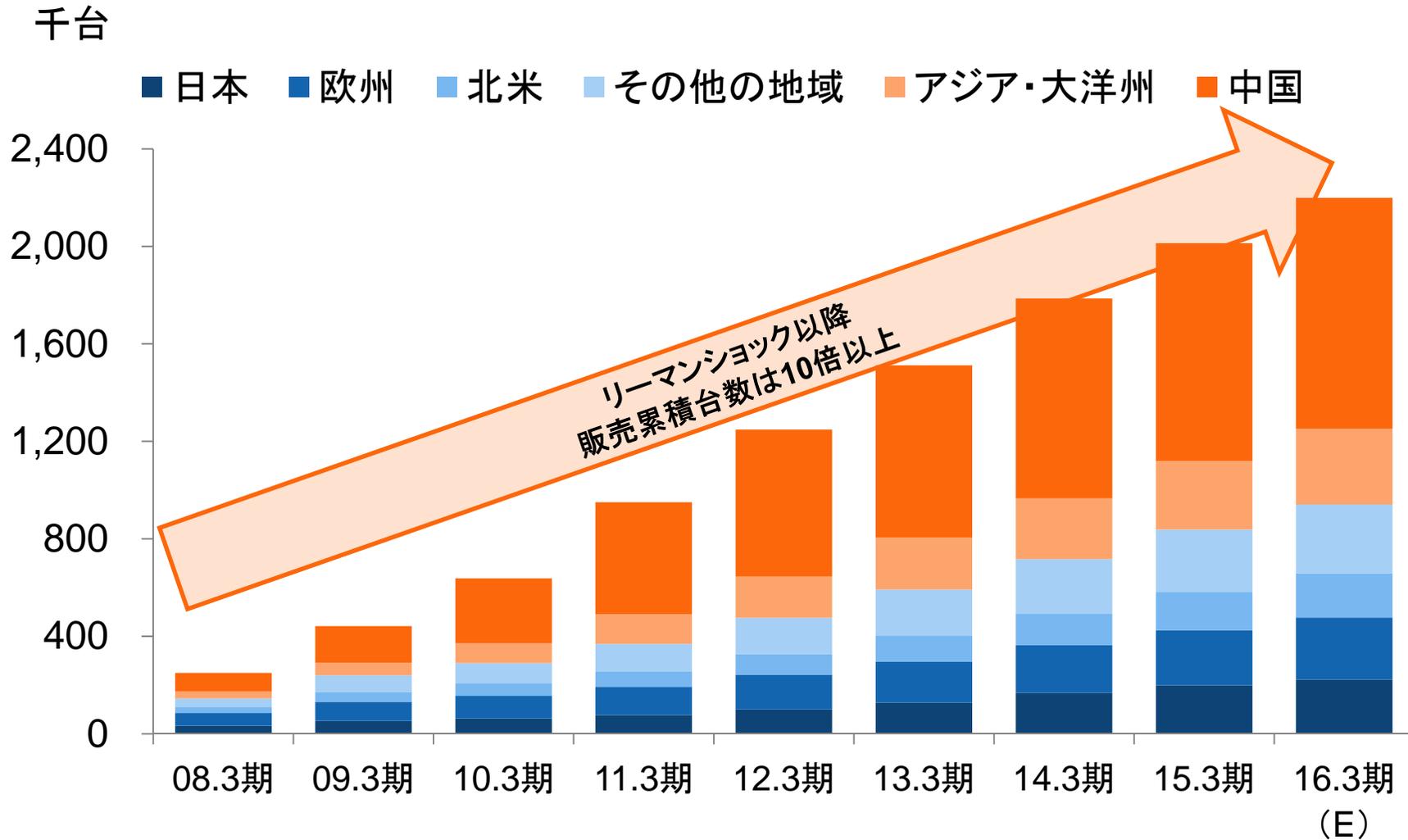
補給・ラインの売上高推移



※2012/3期については単体の数値

新車販売累積台数

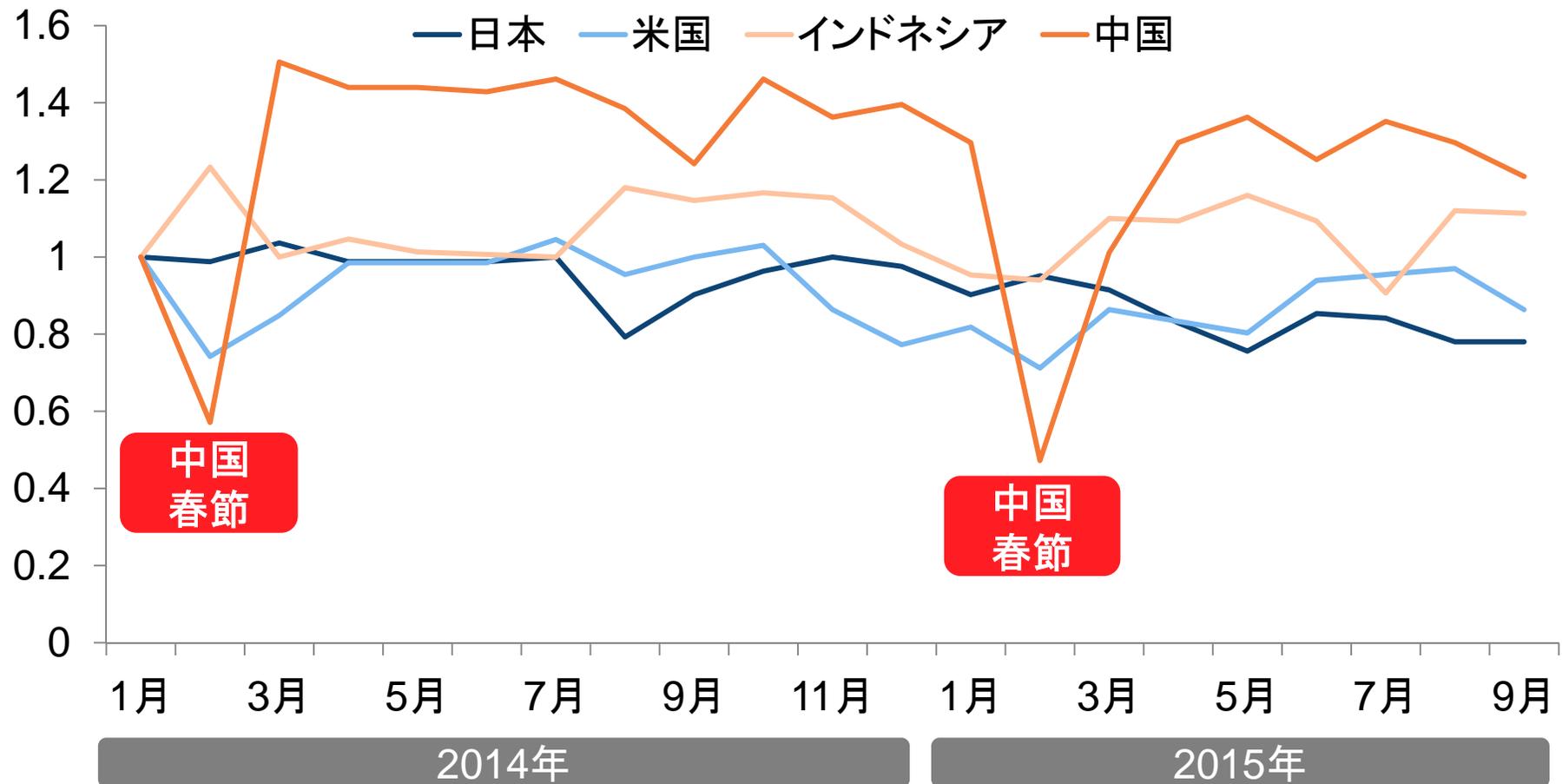
■ リーマンショック以降も販売累積台数は顕著に増加



建機稼働時間

■ 中国市場の建機稼働時間は減少が見られるものの、その他の主要市場の地域は概ね堅調に推移

(2014年1月を1.0として指数化)



(出所)建機各社の資料を基に当社作成

補給品ビジネスの総括

景気の影響

- 新車需要の影響を受けにくい補給品ビジネス
- 重要指標は「市場台数」×「稼働時間」

市場台数

- 新車販売台数が落ち込んだとしても、市場への累積販売台数は増加

稼働時間

- 主要市場間の稼働時間の変動はあるものの、その影響は限定的

Ⅱ . 2016年3月期 第2四半期 実績 ～中国市場低迷によりライン品減少～

2016年3月期 第2四半期実績サマリー



■ 中国市場低迷の影響により売上高減少

	15.3期 2Q	16.3期 2Q	16.3期 2Q	前期比増減	
	実績	計画	実績	金額	%
(単位:百万円)					
売上高	5,473	5,727	5,128	△345	△6.3%
営業利益	563	373	170	△392	△69.7%
当期純利益	373	234	71	△302	△80.9%

製品別売上高

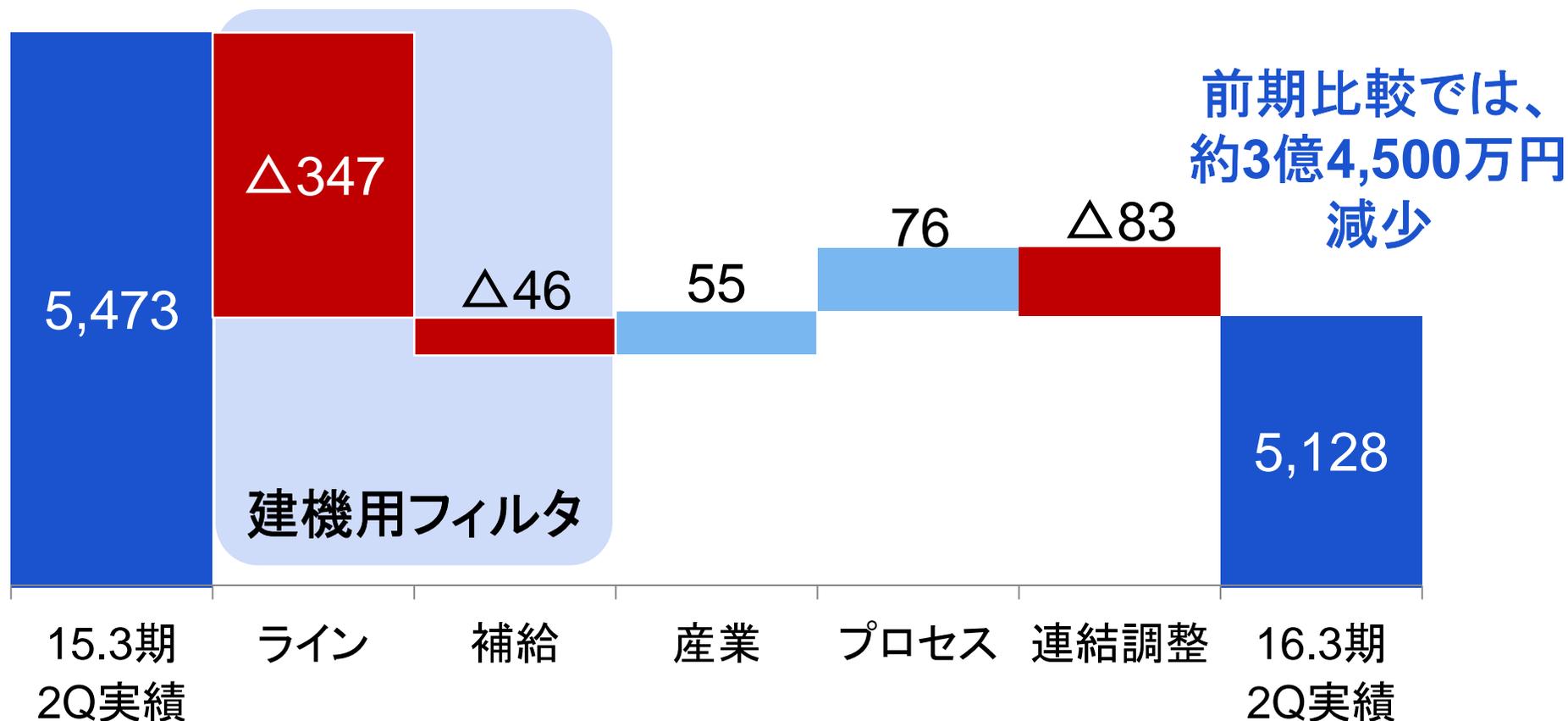
- ライン品は、中国市場低迷により大幅な減収
- 補給品は、前期比ほぼ横ばいで推移

	15.3期	16.3期	16.3期	前期比増減	
	2Q	2Q	2Q	金額	%
(単位:百万円)	実績	計画	実績		
建機用フィルタ	4,835	5,163	4,441	△394	△8.2%
ライン品	2,218	2,446	1,871	△347	△15.7%
補給品	2,616	2,716	2,570	△46	△1.8%
産業用フィルタ	213	232	268	55	25.9%
プロセス用フィルタ	332	354	408	76	23.2%
連結調整	92	△23	9	△82	△89.8%
売上高合計	5,473	5,727	5,128	△345	△6.3%

売上高の増減要因（前年同期比）

- 中国市場低迷によりライン品減収
- 産業・プロセスは受注増により、前期比増収

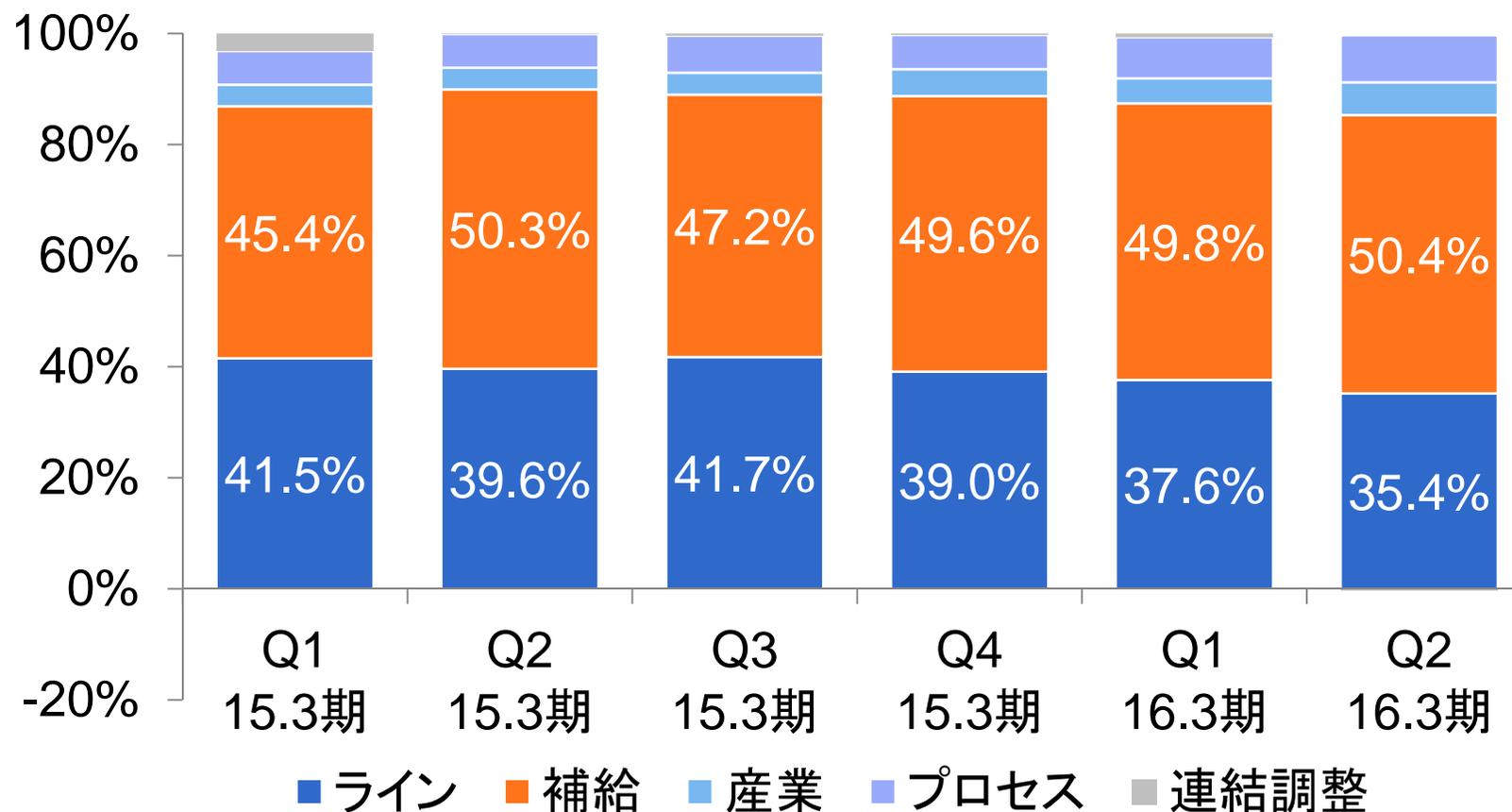
（単位：百万円）



四半期別 製品別比率推移

■ 補給品の売上比率は高水準で推移

(単位:百万円)



地域別売上高

- 建機中国市場の低迷を主因に、国内・中国向け減収
(注) 当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(単位:百万円)	15.3期 2Q		16.3期 2Q		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
国内	2,867	52.4%	2,727	53.2%	△140	△4.9%
北米	1,018	18.6%	969	18.9%	△49	△4.8%
中国	352	6.4%	222	4.3%	△129	△36.8%
アジア	512	9.4%	531	10.4%	18	3.6%
欧州	573	10.5%	592	11.5%	18	3.3%
その他(中東他)	56	1.0%	75	1.5%	19	34.0%
連結調整項目	92	1.7%	9	0.2%	△82	△89.8%
売上高合計	5,473	100.0%	5,128	100.0%	△345	△6.3%

※地域別売上は、当社の請求書送付先である法人の所在地を集計しております。
 ※地域別売上集計方法変更に伴い2015.3月期の金額内訳が変更になっております。

2015年3月期 貸借対照表



■ 自己資本比率は2.5%上昇

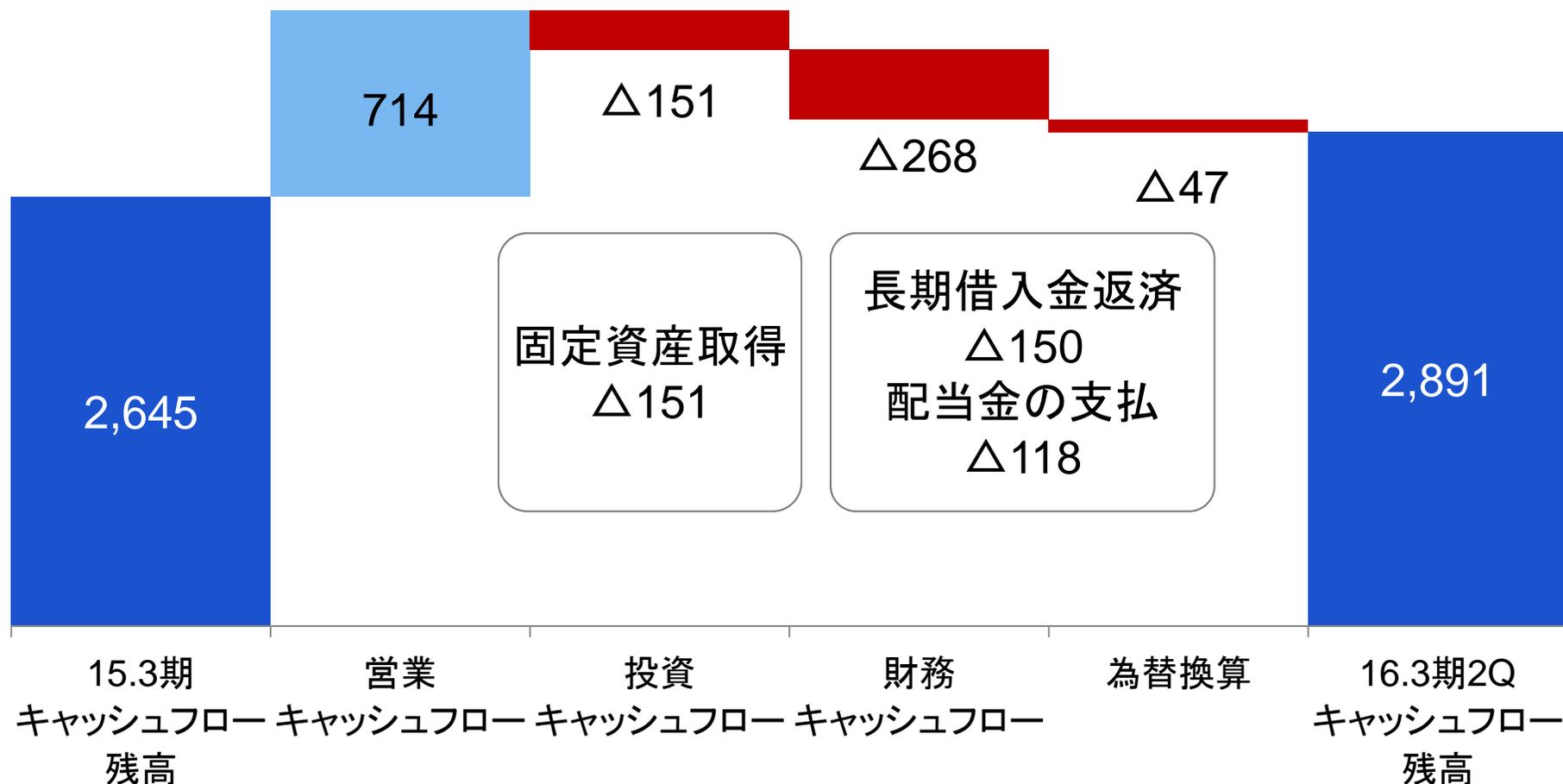
(単位:百万円)	2015.3期 期末	2016.3期 2Q	増減額		2015.3期 期末	2016.3期 2Q	増減額
流動資産	7,384	7,111	△ 273	流動負債	1,893	1,707	△ 186
現金・預金	2,645	2,991	345	支払手形及び 買掛金	1,066	895	△ 170
受取手形及び 売掛金	2,464	2,107	△ 356	短期借入金 1年以内返済社 債・長借	300	300	-
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	1,765	1,577	△ 187	その他	527	511	△ 15
その他	509	434	△ 74	固定負債	1,102	926	△ 176
固定資産	1,963	1,779	△ 183	社債	-	-	-
有形固定資産	1,456	1,423	△ 33	長期借入金	750	600	△ 150
無形固定資産	164	129	△ 35	その他	352	326	△ 26
投資その他 資産	341	226	△ 115	純資産合計	6,351	6,256	△ 94
資産合計	9,347	8,890	△ 457	負債純資産合計	9,347	8,890	△ 457
				*自己資本比率	67.9%	70.4%	

※想定為替レート:1USD=120円、 1ユーロ=140円

キャッシュフローの増減要因

- 現金及び現金同等物の残高は前期末比で増加

(単位:百万円)



Ⅲ. 業績予想・修正計画

～利益確保のため
追加コストダウンを実施～

2016年3月期 通期業績予想



■ 中国市場の顕著な落ち込みにより、10月15日付けで業績を下方修正

(単位:百万円)	15.3期	16.3期	16.3期	前期比増減	
	実績	当初計画	修正計画	金額	%
売上高	10,703	11,353	10,351	△351	△3.3%
営業利益	869	835	526	△343	△39.5%
当期純利益	430	540	329	△100	△23.4%
ROE (%)	8%	8%	5%	-	-

通期売上予想 製品別

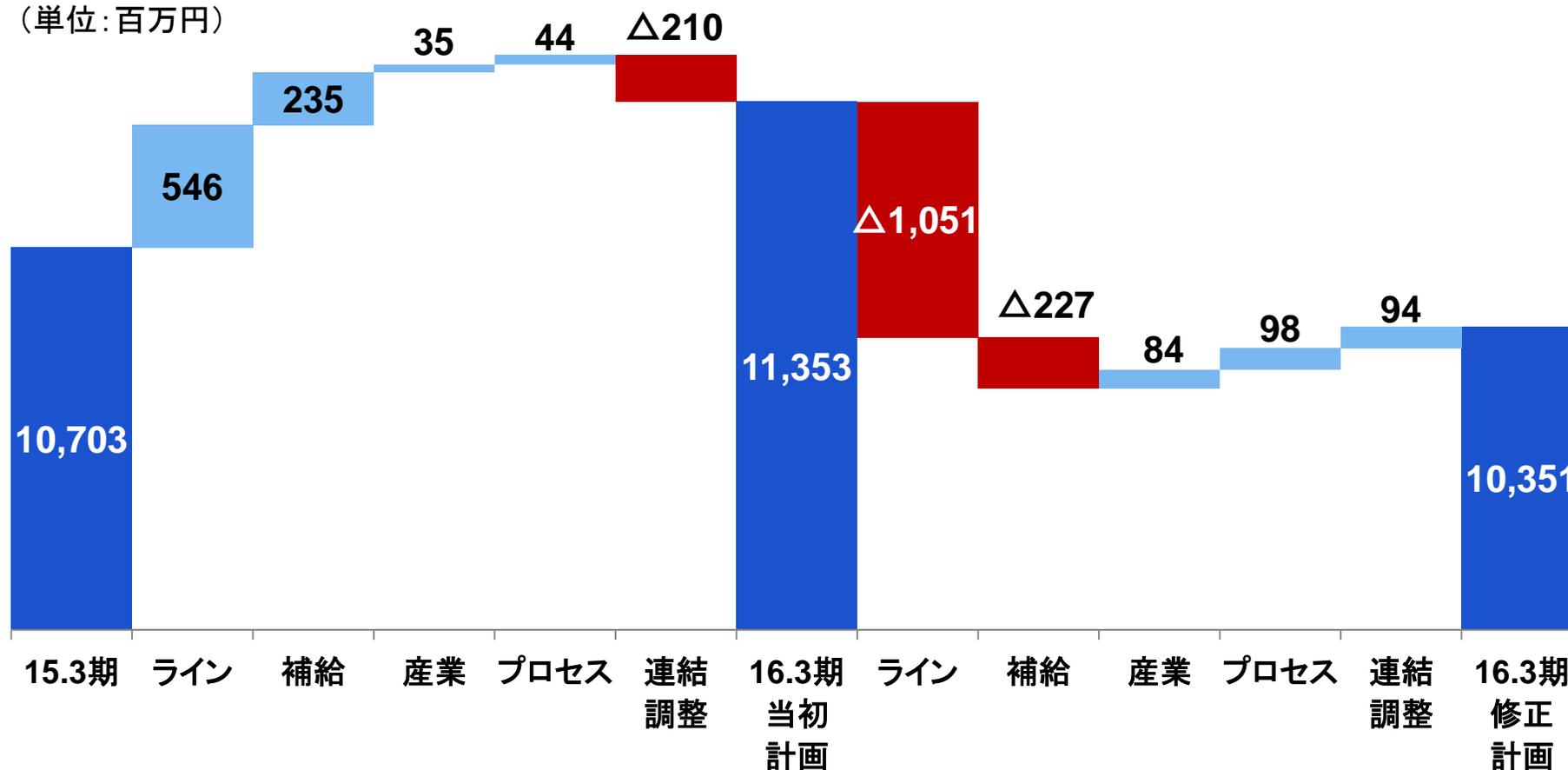
- ライン品は、主要得意先の生産調整等を受け減収を見込む
- 補給品は、販売促進活動の強化により前期比増収を見込む

(単位:百万円)	15.3期	16.3期	16.3期	前期比増減	
	実績	当初計画	修正計画	金額	%
建機用フィルタ	9,479	10,261	8,982	△497	△5.3%
ライン品	4,329	4,875	3,824	△505	△11.7%
補給品	5,150	5,385	5,157	7	0.1%
産業用フィルタ	444	479	564	120	27.1%
プロセス用 フィルタ	667	709	808	141	21.2%
連結調整	112	△97	△3	△115	△103.2%
売上高合計	10,703	11,353	10,351	△351	△3.3%

売上高の増減要因 計画

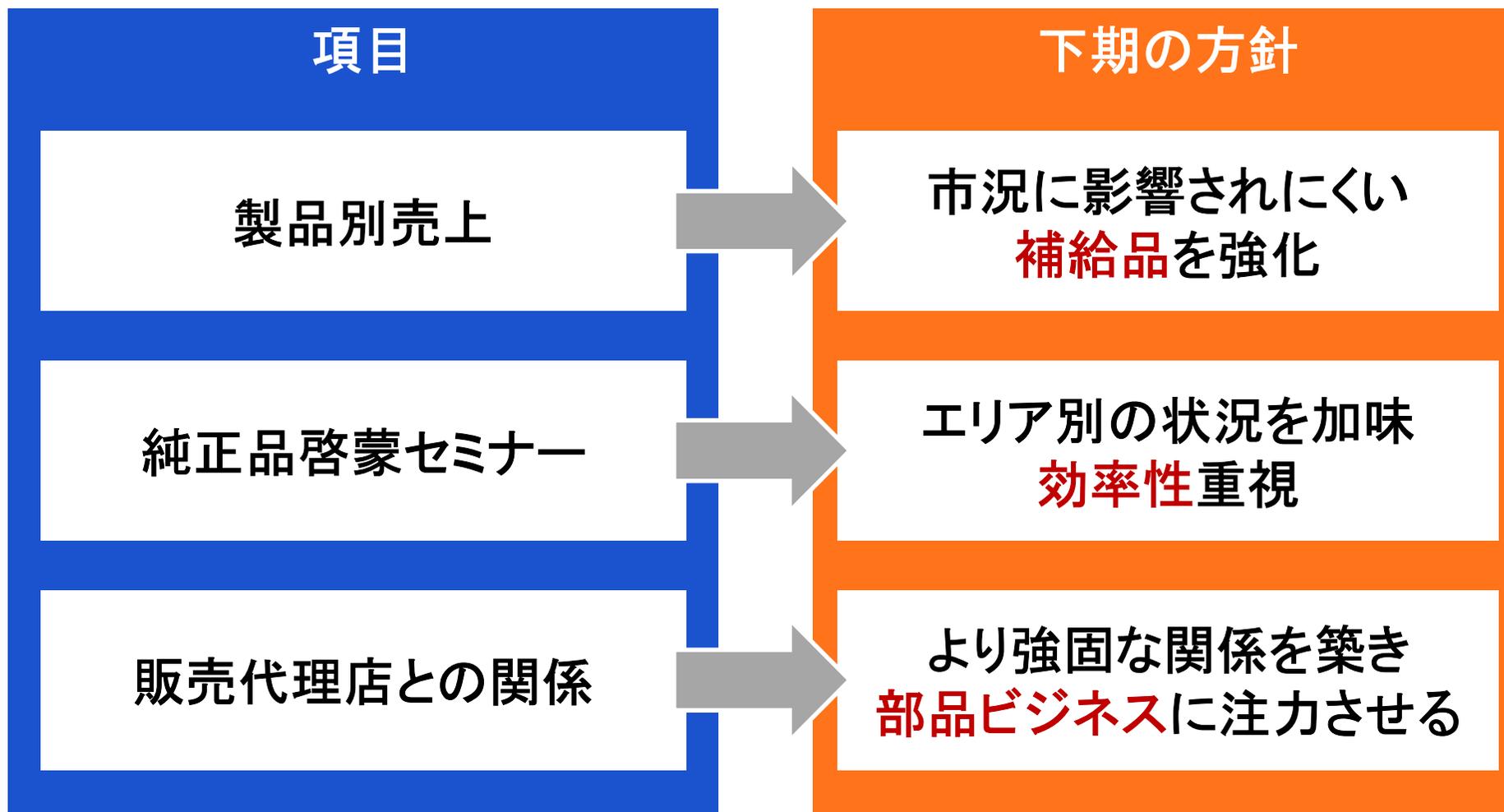
- 中国市場低迷により建機フィルタ減収を見込む
- 産業/プロセスは既存顧客からの受注増/新規開拓により前期比増収を見込む

(単位:百万円)



売上高回復に向けて

- 期末に向けて、補給品の販売促進活動に傾注

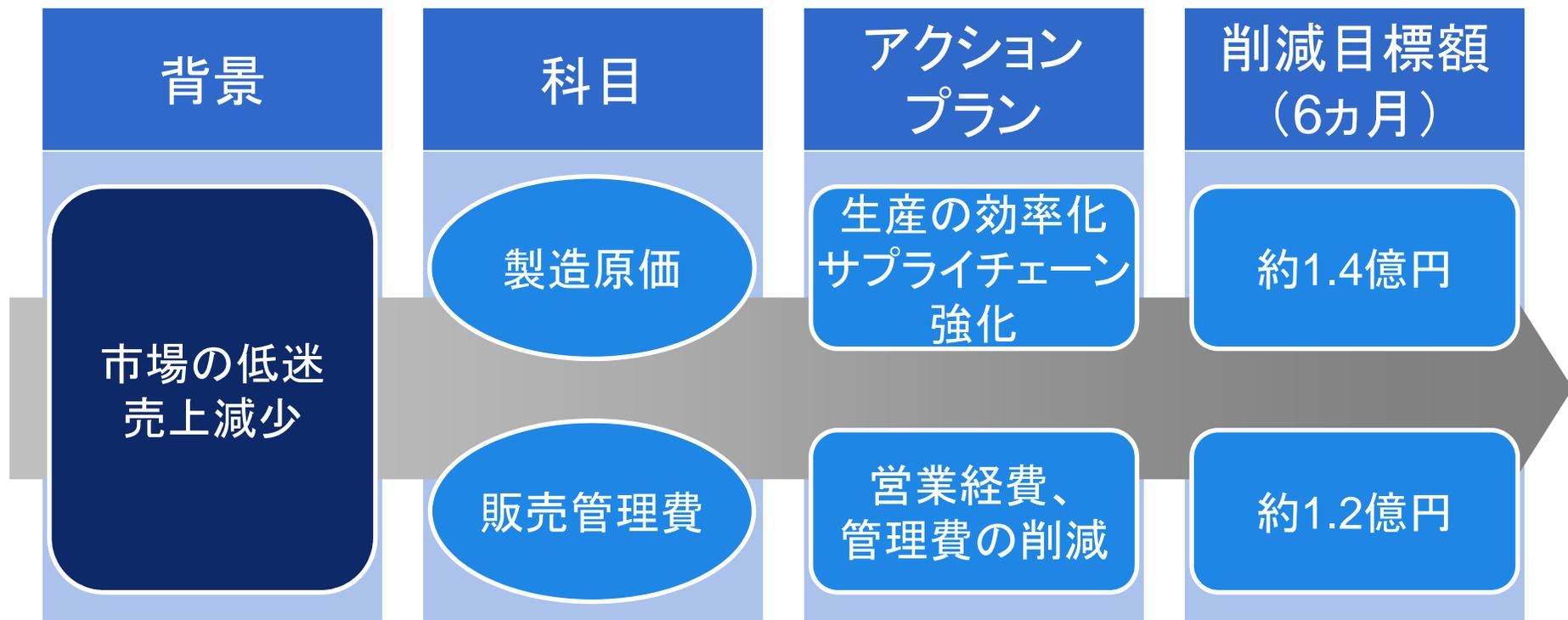


Project PAC 15

■ 利益創出体制の確立、企業価値向上を目的とした全社的プロジェクト

PAC15とは

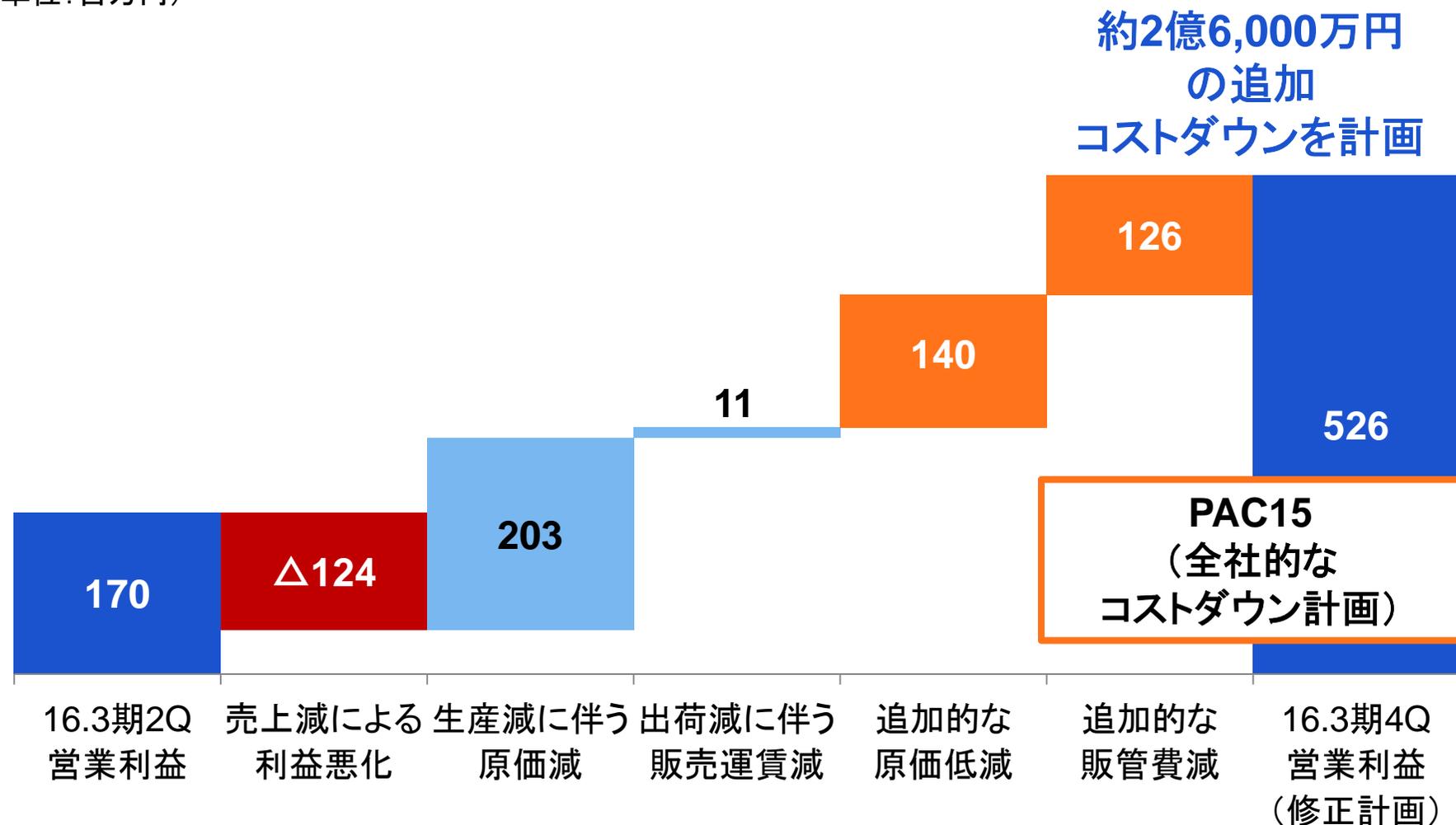
Promptly **A**ctivated **C**ost reduction 20**15**
迅速 かつ効果的な コスト削減計画



Project PAC 15

■ 利益確保のため、下期に追加的なコストダウン計画を実施

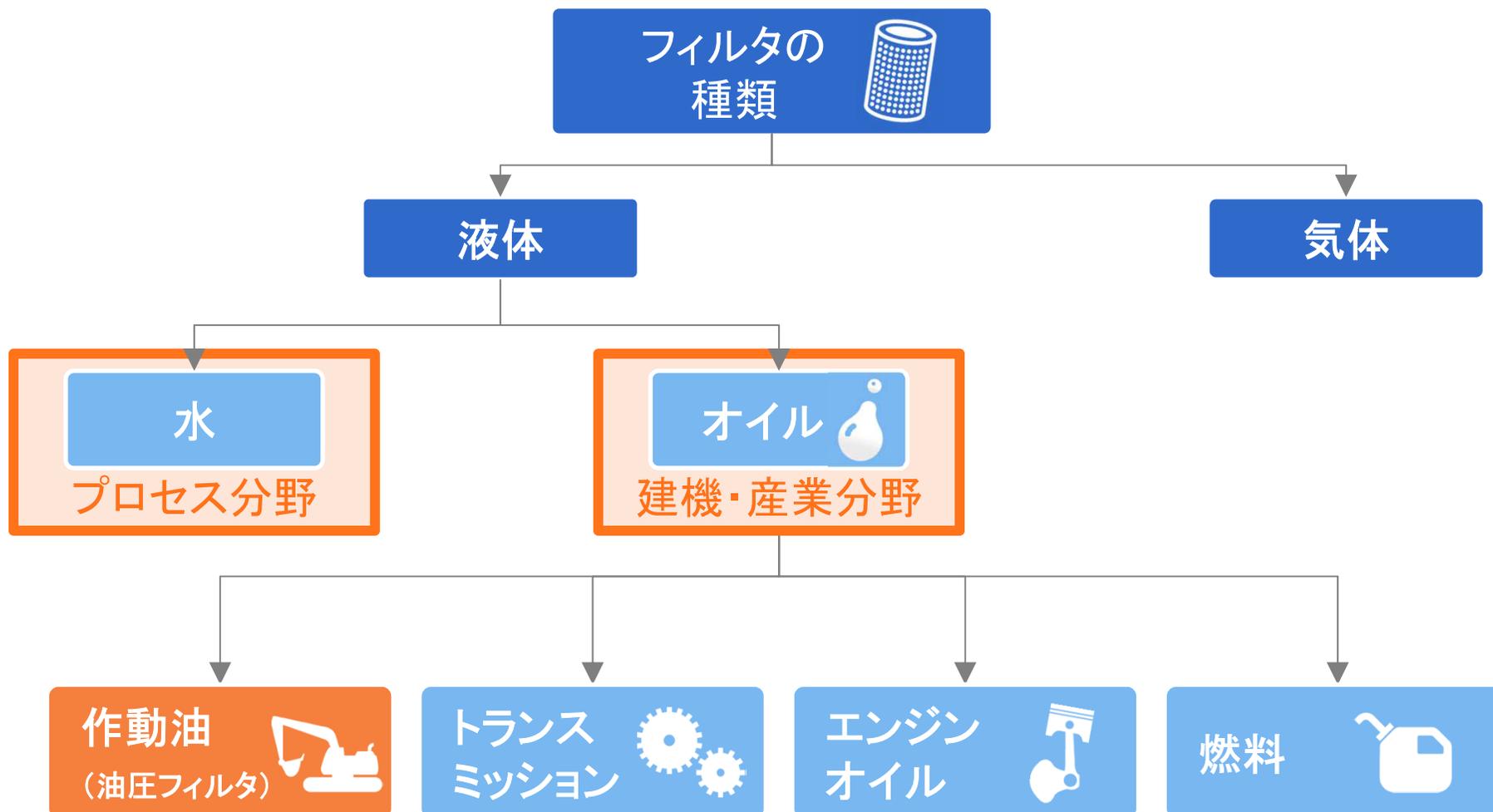
(単位:百万円)



IV. 今後の方向性 ～周辺分野を深耕～

成長の可能性

- 今後、建機分野と産業・プロセス分野とのシナジーを高めていく



※イメージ図

成長の可能性

■ 周辺分野を深耕し、新しい領域にチャレンジ

新規顧客



建機油圧
フィルタ

建機周辺

産業

プロセス

新製品

V. 株主還元

株主優待

- 当社株式への関心を高めて頂くため、2015年9月に株主優待を新規導入

株主優待概要

対象株主	毎年第2四半期末(9月30日)、期末(3月31日) 現在の株主名簿に記載又は記録された 当社株式 1单元(100株)以上を保有する株主様
開始日	2015年9月30日より
ご優待品	QUOカード 
保有株数による区分	100株以上1,000株未満→500円相当 1,000株以上 →1,000円相当

株主還元

- 実質的な利回り増加を計画
- 1株当たり配当金の予想および株主優待内容に変更はなし

	14.3期	15.3期	16.3期
1株当たり 配当金	40円 ^{*1}	19円 ^{*3}	10円 ^{*2 *3}
株主優待	—	—	【新設】

※1 2015年3月20日付で普通株式1株を3株に分割いたしました。2014年3月期の1株当たり配当金は**株式分割前の配当金の額**を記載しております。

※2 2016年3月期については、現時点での予定です。

※3 2015年9月1日付けで、普通株式1株を2株に分割いたしました。2015年3月期の1株当たり配当金は**株式分割前の配当金の額**を記載しております。

なお2016.3月期の**1株当たり配当金に実質的な修正はありません。**

本編のまとめ

決算実績

- 想定以上の中国・アジア市場低迷の影響を受ける

計画見通し

- 通期計画は見直すが、補給品強化とコストダウンにより、利益確保を目指す

Project PAC 15

- 利益創出体制の確立、企業価値向上を目的とした全社的プロジェクト

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL(045-680-1671)
E-mail: ir@yamashin-filter.co.jp